

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	心身障害者福祉年金給付事業	コード	02-01-03-16
		担当課・係	市民福祉課福祉係
		担当者	藤原弘章
事業実施期間	昭和42年～平成19年		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目(施策)	障害者(児)福祉	

事業について	
目的 (何のために)	心身に障害のある方に対して障害者福祉年金を支給し、感謝激励する
対象 (誰・何を対象に)	備前市日生町に居住し、満20歳以上で身体障害者1級～3級、又は療育手帳Aの交付を受けている者
内容	年額8,800円の障害者福祉年金を年2回に分けて支給する

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
支給人数(前期)	229 人	236 人	
支給人数(後期)	238 人	230 人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,998	間接補助金等		直接事業費	1,984	間接補助金等	
	人件費	404	受益者負担		人件費	380	受益者負担	
	合計	3,402	一般財源等	3,402	合計	2,364	一般財源等	2,364

必要人員	0.15 人	0.05 人	
結果指標名	支給人数(前期)	支給人数(前期)	
結果指標量	229	236	
単位	人	人	
対前年比	-	103.06%	0.00%
活動にかかるコスト	3,402,000 円	2,364,000 円	
単位当たりコスト	14,856 円	10,017 円	
結果指標名	支給人数(後期)	支給人数(後期)	
結果指標量	238	230	
単位	人	人	
対前年比	-	96.64%	0.00%
活動にかかるコスト	3,402,000 円	2,364,000 円	
単位当たりコスト	14,294 円	10,278 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	施設に登録されているすべての障害者が施設を利用する		
成果指標名	申請率	式又は説明	支給人数(230人)/対象障害者人数(230人)
	17年度	18年度	
成果指標量	92.2%	100.0%	
対前年比	-	108.46%	0.00%
到達目標値	100.0%	到達目標年度	平成19年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 備前市心身障害者福祉年金条例
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	平成19年度から年間支給額を8,800円から4,400円に減額して事業を継続している
目標値	結果指標量 230	結果指標量 230		
	成果指標量 100.0%			

総合評価	合併時の申し合わせに基づき、平成19年度いっぱいまで事業を完了する	評価区分 <A~E> <b>C</b>
------	-----------------------------------	---------------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	--	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果